



ロブ・バッキンガム博士（公認技術士、英国工学技術士会フェロー、英国王立工学アカデミーフェロー）

バッキンガム博士は、カラハムに拠点を置く英国原子力公社 (UKAEA) の理事であり、RACE の初代所長を務めている。RACE は、過酷環境下での遠隔技術の適用、つまり、人間が作業できない、またしてはならない場所で使用されるロボットの開発のための UKAEA の施設である。RACE は、カラハムにある世界の核融合実験を主導する JET（欧州トーラス共同研究施設）における 20 年に及ぶ遠隔操作に関する歴史の上に成り立っている。

バッキンガム博士は英国の産業戦略に組み込まれているロボット及び自立システム戦略の代表執筆者でもあった。RACE は原子力ロボティクス、自律走行車、リビング・ラボといった技術を含む当該の戦略を実現するための一つの要素である。

RACE をリードする以前は、スネークアーム型ロボットの開発及び商用化を手掛けた OC ロボティクスの共同設立者であり代表取締役を 13 年間務めた。バッキンガム博士のこの分野での功績が認められ、氏は名誉ある英国王立工学アカデミーのシルバーメダルを受賞した。OC ロボティクスは近年、GE アビエーションに買収された。

初期のキャリアの中で、バッキンガム博士は、英国のエンジニアリング奨学生であり、UKAEA がスポンサーをしている研究生であり、ブリストル大学の講師でもあった。氏は、ロンドンのブルネル大学のスペシャル・エンジニアリング・プログラムで理学士及び工学士の学位を取得し、ブリストル大学で博士号を取得した。氏は、公認技術者で、英国工学技術士会及び英国王立工学アカデミーのフェロー会員でもある。